

## みずほCustomer Desk Report 2017/11/17号(As of 2017/11/16)

## 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.02 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.77	1.1784	132.89	0.9884	1.3176	0.7591
SYD-NY High	113.33	1.1801	133.44	0.9946	1.3208	0.7609
SYD-NY Low	112.74	1.1757	132.76	0.9883	1.3135	0.7567
NY 5:00 PM	113.05	1.1770	133.02	0.9942	1.3194	0.7587
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.79/8.165	△25RR	0.925	Yen Call Over		
NY DOW	23,458.36	187.08	債券市場	日本2年債	-0.1880	▲0.4bp
NASDAQ	6,793.29	87.08		日本10年債	0.0520	0.6bp
S&P	2,585.64	21.02		米国2年債	1.7082	2.5bp
日経平均	22,351.12	322.80		米国5年債	2.0699	3.8bp
TOPIX	1,761.71	17.70		米国10年債	2.3753	5.3bp
シカゴ日経先物	22,595.00	475.00	為替市況	独10年債	0.3760	-
ロンドンFT	7,386.94	14.33		英10年債	1.3090	2.3bp
DAX	13,047.22	70.85		豪10年債	2.5820	▲0.7bp
ハンセン指数	29,018.76	167.07		USD/CNH	6.6330	0.0003
上海総合	3,399.25	▲3.27		ドルインデックス	93.91	0.09
USDJPY 3M Vol	8.26	▲0.22%	商品市況	CRB指数	188.246	▲0.39
USDJPY 6M Vol	8.83	▲0.14%		NY金	1,278.50	0.80
EURJPY 3M Vol	7.59	▲0.26%		WTI	55.26	▲0.07
EURJPY 6M Vol	8.60	▲0.17%		Dubai Spot	59.65	0.03

## 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月16日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	09:30	豪 雇用者数変化/失業率	10月 3.7K/5.4%	18.8K/5.5%
	18:30	英 小売売上高(前月比/前年比)	10月 0.3%/-0.3%	0.2%/-0.5%
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)	10月 0.1%/1.4%	0.1%/1.4%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 249K	235K
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	10月 0.9%	0.5%
	23:00	英 カーニーBOE総裁 講演	-	-
11月17日	03:10	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

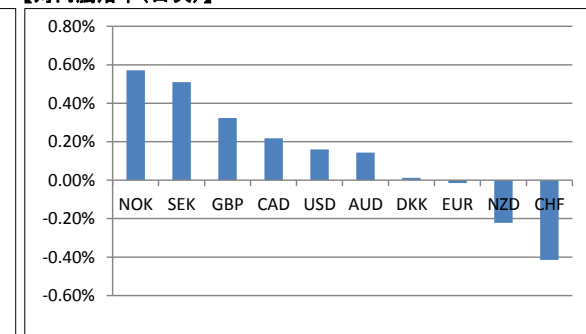
## 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月17日	22:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	10月 1190K/1250K	1127K/1225

## 【ドル円相場】



## 【対円騰落率(日次)】



## 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.50-113.50	1.1720-1.1800	132.70-133.60

## 【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円は、上に行つてこいの展開。株式市場が堅調推移を見せる中、リスクセンチメントの改善からドル円は113.33円ま上昇したが、その後は軟調な米経済指標結果を受けて、113円を割り込む展開となった。本日のドル円は小動きの展開を予想する。前日からの株高の流れを受け、リスクセンチメントは改善基調を継続。日経平均とドル円との相関性は低下しているものの、円買い圧力の後退から、ドル円の下落は限定的となろう。ただし、新規材料難の状況は変わらず、上値も積極的に攻める展開は想定しがたく、小幅レンジ推移が継続しよう。

東京	東京時間のドル円は112.77レベルでオープン。前日に大幅下落する動きを見せた日経平均株価がこの日も前日比マイナス圏で寄り付くも、その後すぐにプラス圏に浮上するとドル円も仲値にかけて113円台まで上昇。その後113円ちょうを挟んでの揉み合い推移が続くも、日経平均株価が午後にかけて一段と上昇し、前日の下げ幅を全て回復すると、ドル円も113.11までじり高の展開。しかしその後はやや伸び悩んだ感もあり、引けにかけてはややレベルを下げる格好となり、結局112.91レベルで海外へ渡った(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、112.91レベルでオープン。日経平均が7日ぶりの反発を見せたこと等から、113.33円まで上昇し、113.19レベルでNYに渡った。本ドルは、1.3181レベルでオープン。英10月小売売上高が▲0.3%と2013年以降の前年比マイナス値を示したものの、対予想比(▲0.4%)では上回っていたこともあり下値は限定的。英紙が、EU離脱に伴い支払清算金を巡ってメイ首相が最大200億ポンドの引き上げを提示する用意を進めていると報じたことで、英EU離脱交渉が加速するとの見方が浮上する中、本ドルは1.32まで上昇し、1.3194レベルでNYに渡った(ロンドン17:00)
ニューヨーク	年末や感謝祭を控えたポジション調整のドル売りの動きが意識される一方、前日に発表された米10月CPIが良好な内容となったことや、日経平均株価が反発する展開となったことなどを背景にドル円は海外市場で113.33まで戻し、113.19レベルでNYオープン。朝方は新規失業保険申請件数が予想を上回り、米11月フィデリティ連銀景況指数が予想を下回ったことからドル円は112.99まで下落。続いて発表された米10月鉱工業生産は予想を上回り、前回分も上方修正されたものの、ドル円の反応は限定的となり、特段の材料が見当たらない中でドル売りが優勢となったことから112.74まで下落する展開。その後は米金利が上昇する展開にドル円はじりじりと上昇する。午後に入り下院の税制改革法案の投票が開始され、賛成227票対反対205票で下院で可決したものの、事前に予想されていたことからドル円の目立った反応はなく、金利上昇の動きに連れられて113.06まで値を戻す。終盤に掛けては、イベントを通過し、難航が予想される上院での審議も11月末から12月始めに開始されると見られている中で動きづい展開となり、狭いレンジでの推移が続く113.05レベルでクローズした。一方、ユーロは海外市場で1.1801まで値を戻す場面もあったものの、過去2日間の上昇後で上値追いは慎重となり、ユーロ圏CPI(確報値)も予想と一致したことからユーロ相場の反応は限定的となり、1.1761レベルでNYオープン。朝方はドル売りが優勢となったことから再び1.1785まで反発するも、ドルが買い戻される展開に1.1761まで反落。午後には1.1759-79での狭いレンジでの推移が続き、結局1.1770レベルでクローズした。(NY15:30)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:橋・鶴田